

富良野

市議会だより

平成22年

第48号

2010.11

■発行：富良野市議会 ■編集：議会広報特別委員会 [富良野市弥生町1-1 TEL 39-2322]



地域医療を守るドクターヘリ
(富良野沿線議員研修会に於いて)

平成22年
第3回

定例会

9月7日～9月17日
(11日間)

主な内容

- ・議決結果…………… P 2
- ・一般質問…………… P 3～6
7名の議員が市政全般について質問
- ・委員会報告…………… P 6～9
総務文教委員会報告
保健福祉委員会報告
経済建設委員会報告
議会改革特別委員会報告
議会報告会
平成21年度決算審査特別委員会設置
総合計画基本構想審査特別委員会設置
- ・議会日誌・編集後記等…………… P 10

平成22年第3回富良野市議会定例会議決結果表

議案番号	事 件 名	議決月日	議決結果
議案第1号	平成22年度富良野市一般会計補正予算(第6号)	9月17日	原案可決
議案第2号	平成22年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	9月17日	原案可決
議案第3号	富良野市地域医療対策基金条例の制定について	9月17日	原案可決
議案第4号	非核平和都市宣言の全部改正について	9月17日	原案可決
議案第5号	第5次富良野市総合計画基本構想について	9月17日	継続審査
議案第6号	住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域内の住居表示の方法について	9月17日	原案可決
議案第7号	町の区域の新設について	9月17日	原案可決
議案第8号	富良野市表彰条例に基づく表彰について	9月17日	原案同意
議案第9号	富良野市監査委員の選任について	9月17日	選任同意
議案第10号	富良野市公平委員会委員の選任について	9月17日	選任同意
議案第11号	平成22年度富良野市一般会計補正予算(第7号)	9月17日	原案可決
認定第1号	平成21年度富良野市一般会計歳入歳出決算の認定について	9月7日	継続審査
認定第2号	平成21年度富良野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月7日	継続審査
認定第3号	平成21年度富良野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月7日	継続審査
認定第4号	平成21年度富良野市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	9月7日	継続審査
認定第5号	平成21年度富良野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9月7日	継続審査
認定第6号	平成21年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月7日	継続審査
認定第7号	平成21年度富良野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月7日	継続審査
認定第8号	平成21年度富良野市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月7日	継続審査
認定第9号	平成21年度富良野市水道事業会計決算の認定について	9月7日	継続審査
認定第10号	平成21年度富良野市ワイン事業会計決算の認定について	9月7日	継続審査
報告第1号	平成21年度健全化判断比率について	9月7日	報告済
報告第2号	平成21年度資金不足比率について	9月7日	報告済
報告第3号	株式会社富良野振興公社の経営状況について	9月7日	報告済
報告第4号	株式会社ふらの農産公社の経営状況について	9月7日	報告済
報告第5号	株式会社空知川ゴルフ公社の経営状況について	9月7日	報告済
報告第6号	専決処分報告について(平成22年度富良野市一般会計補正予算第4号)	9月7日	原案承認
報告第7号	専決処分報告について(平成22年度富良野市一般会計補正予算第5号)	9月7日	原案承認
報告第8号	専決処分報告について(市道における物損事故の損害賠償)	9月17日	報告済
意見案第1号	森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書	9月17日	原案可決
その他会議に 付した事件	所管事項に関する委員会報告		
	・事務調査報告(総務文教)	9月7日	調査済
	・都市事例調査報告(総務文教)	9月7日	調査済
	・事務調査報告(保健福祉)	9月7日	継続調査
	・事務調査報告(経済建設)	9月7日	調査済
	議会改革特別委員会報告	9月7日	継続調査
	監査委員報告		
	・例月出納検査結果報告(平成21年度5月分、平成22年度5月分～7月分)	9月7日	報告済4
	教育委員会報告	9月7日	報告済1
	閉会中の所管事務調査について(総務文教・経済建設)	9月17日	許可2
閉会中の都市事例調査について(保健福祉・経済建設)	9月17日	許可2	

一般質問

東海林 孝 司

(民主クラブ)

■農業への就業人口減少 担い手育成と確保対策

問 2010年農林業センサスで、農業就業人口は5年間で75万人減少し、平均年齢が65歳を超えたことが明らかになった。今後も80歳代となった昭和一代世代を中心に離農が進む見通しである。高齢化の進行する速度に担い手の育成・確保の対策が追いつかないのではないか。観光や環境を融合させ地域振興を目指す本市において、農業の多面的機能を損なわず持続可能な農業振興策として担い手の育成・確保対策を進めるべき。経営者としての育成に向け、計画力・実践力など技術や経営的な総合力を習得するための研修制度の考え方を伺う。

答 営農技術や経営知識を学ぶ農業特別専攻科に対する支援や、自主的な取り組みへの助成、北大サテライトにおける課題研究など行っている。

問 第三者継承への課題は。

答 委譲希望農家と継承希望者の考え方の整理、信頼関係構築、研修方法、資産評価や譲渡方法、コーディネーターの役割などが必要な支援と認識している。

問 富良野方式継承の進捗は。

答 先進事例を参考に、本市の実情に合った方法を検討して確立していく。

問 農業経験の浅い担い手や、農業を目指す者に対して、各段階においての支援・応援体制の仕方は。

答 地域リーダー、経営感覚に優れた経営者の育成・確保に向け、関係機関・団体が連携してより効果の上がる支援対策を検討していく。



農業特別専攻科 (緑峰高校)

今 利 一

(市民連合)

■農協等と連携し調査対応

問 今回の農業被害に対しての認識と対策を伺う。特に、若い農業経営者が意欲の持てる対策をとるべきと考える。

答 今後の対応については、ふらの農協等と連携し調査、年末の資金対応等を検討する。

■今後も生活道を中心に除雪

問 ベベルイ零号線冬期間全面開通について、地元は観光ルートとして位置付けている。費用対効果だけでなく、過疎地域の活性化のため冬期間も開通すべきと考えるが市の対応は。

答 冬期間2700mの区間は住宅等の存在がなく、原始ヶ原も閉鎖。今後も生活道路を中心とした除雪体制の充実に努める。

■旧法務局買収は総合的に 考慮し新たな施設等検討

問 緑町児童保育に使用している児童会館が手狭になり、旧法



玉葱畑に流入した土砂

答 当初は、緑町児童館の混雑解消を目的に扇山小学校区に二つの児童保育センターを計画し、閉鎖された旧法務局の利用を予定。扇山小学校における児童保育に関する今後の見通しが少子化に伴い減少傾向にある。

平成23年4月以降財務事務所との協議を進める。協議期間が延伸し総合的に考慮すると、新たな施設の建設など含めて検討が必要。

天日 公子

(民主クラブ)

■スーパー出店要望対応は

問 駅東側に居住する市民からのスーパーマーケット誘致要望の進め方は。

答 駅東側は約6500名が居住、その3分の1に当たる2200名が60歳以上の状況。駅東側の各連合会からの要望や、高齢者が安心して暮らすための生活基盤づくりと合わせ、今後も商工会議所や関連する団体との協議を重ねる中から、住民の消費動向調査や市街地商店街の実態把握を行いたいと考えている。

■認知症対策は

問 認知症者の現状と今後の傾向は。

答 平成20年10月時点の要介護認定者のうち認知症が主たる原因の数は231人。平成22年8月末の要介護認定において若年性認知症者が4人。要介護認定者1074人のうち、一部症状が見られ何らかの介護・支援が



認知症ガイドブック

必要な人は高齢者人口の8・1%の520人。そのうち一定の介護を必要とする人は320人。一般的統計上からすると本市は0・9%高い。今後の認知症者の傾向は、高齢者人口で計算すると20年後は700人を超えることが推測される。

問 早期発見・早期治療は。

答 先ず認知症を多くの市民の方に理解していただくことが早期発見につながる。かかりつけ医師による診断は、本人や家族からの症状の訴えにより、次の専門医へつなぐことが可能。かかりつけ医への相談、地域包括支援センターへの相談活用を願いたい。

大栗 民江

(公明党)

■子どもの命と成長を守るヒブワクチンや肺炎球菌ワクチン

問 細菌性髄膜炎の原因となるヒブや肺炎球菌の予防ワクチンは、高額のため公費助成をする自治体が急増している。

高齢者の肺炎予防にも間接的効果があり、医療費抑制からも小児期と高齢者への肺炎球菌ワクチン接種は大切。本市の公費負担の考え及び任意予防接種の市民への啓発周知方策は。

答 5月末現在ヒブワクチンは、道内34の自治体で負担している。ヒブと肺炎球菌ワクチンを同時に受けると4回で59,916円の負担となり接種が進まないのが実情。国に定期接種化を要望していると共に全国的取組み状況を見ながら検討する。任意の予防接種も出生届け出時に周知をすすめる、個別対応する。

■赤ちゃんの駅の取組み・展開は

問 育児中の親が安心して外出

できるように、オムツ交換や授乳で気軽に立ち寄れる施設を自治体が「赤ちゃんの駅」として登録する取組みが全国的に拡がっている。本市の登録済公共施設、市内外への取組みや周知は。

答 市役所など14公共施設を登録。4つの基準（授乳・おむつ交換・手洗い・冬場の暖房設備）を満たす事業所への協力依頼。登録事業所がわかる赤ちゃんの駅登録マップの作成。本市ホームページ等へ掲載。

観光パンフ等の掲載、観光客への周知も協議予定。商品及び企業広告に登録施設の表示ができることの周知も考えている。



設置が進む「赤ちゃんの駅」

【その他の質問】

◆安心して暮らすまちづくり

一般質問

宮田 均

(無所属)

■第三セクターを民営化する考えは

問 ふらのバス路線の中で、ハイランドふらの線など道の補助要件(乗車密度5人以上)を満たさない、あるいは満たさなくなる見込みの路線の今後の運行と市民の足確保、代替策は。

答 麻町線・御料線・ハイランドふらの線は、国・道の補助要件を満たさず、市の単独補助で運行している。通学・通院など、交通弱者の足を守り、現行のバス路線を確保すべきと考える。代替策は考えていない。

問 富良野振興公社は、市の出資金が1千万円であり、副市長・教育長・経済部長・総務部長が役員となり運営している。

設立当初の目的は達成されており、出資金を引き揚げ、民間にすべきでは。

答 行政の補完的な役割を担い今後これら施設の運営は市において必要と考える。



第3セクターの農産公社

問 ふらの農産公社への出資金は1005万円で、会長が市長、専務・常務に元市職員、取締役は副市長・経済部長、監査には総務部長がなっている。設立当初の目的は達成され、純民間にすべきでは。

答 会社経営の重要性や経営状況を見極め総合的に判断したいと考えているが、筆頭株主の責任は大きいものと認識している。

問 ゴルフ公社出資金は4200万円で、19年3月に1億1450万円同額を芦別市とともに資金貸付。ゴルフ場は必要か。

答 事業の意義、採算性等を改めて検討の上、経営改革を総合的に取り組む必要があると強く認識している。

広瀬 寛人

(無所属)

■買い物難民の認識と現状は

問 買い物難民の実態把握は。

答 麓郷地区の取り組みは優れた事例で、コミュニティの中で助けられ、買い物難民にならないと考えている。

基準が不明確で、実態把握は困難であると考える。

問 富良野市の商業統計実態は。

答 平成16年度と平成19年度を比較すると商店数は9%減、従業員数は10%減となっており、年間商品販売額は22%減と全てにおいて減少し、年々厳しい状況となっている。

問 施策検討のため年齢層を含めた人口分布推定が必要では。

答 現在は取り組んでいないが「買い物弱者」だけの問題ではなく、経済・福祉・教育など幅広い分野で必要な作業と考えており、今後取り組みたい。

市内の人口分布推定作業による実態調査と消費動向調査を行いたい。

■迷惑空き地問題は

問 管理がされず、周辺環境に悪影響を及ぼしている迷惑空き地の実態把握は。

答 地域からの情報件数は、平成22年度現在、5件5カ所。富良野市まちをきれいにする条例で勧告を行った実績はない。

■要援護者の権利擁護は

問 日常生活自立支援事業、成年後見制度の周知は。

答 高齢者等が増加するなか、大切な制度と認識するが、市民の方が制度の内容や仕組みを理解されていない状況と考え、今後、制度の周知と啓蒙を図る。



後見人制度参考文献

東海林 剛

(民主クラブ)

■地域コミュニティが抱える課題と施策の推進

問 ①中心市街地、住宅街、農村部におけるコミュニティの課題をどう捉えているか②協働において、地縁団体である自治会の限界に対する見解と今後のあり方③自治会と連携し共存できる自主集団の立ち上げと育成支援④地域毎の活性化プランの策定⑤地域のやる気を引き出す効果的な補助制度のあり方や、コミュニティ推進員の体制の見直し⑥コミュニティ活動を担う人材の育成確保について伺う。

答 ①核家族化、個人情報保護法の制定など個人を中心とした社会への意識変革によりコミュニティに対する意識の希薄化が進んでいる。②現状では活動の限界があると認識しているが、子ども、高齢者、災害時の相互扶助など地縁によらなければできない活動もある。③地域活性化を担う自主集団は地域活性化

に大きな役割を果たすもので、住民が自発的に組織化されることが大切で、行政はそのきっかけづくりを担う。④地域コミュニティのあり方を改めて検討していく必要がある、将来モデル的に地域コミュニティ活性化プランの策定は可能。⑤地域コミュニティの課題に対応する補助金制度の見直しは必要。地域コミュニティ推進員は活動を活性化する立場から、複数の配置体制や具体的活動の提起などの検討を進めていく。⑥コミュニティの人材は、一人いればよいのではなく複数が助け合う体制が不可欠。自主組織の組織化、運営などを通して自然と人材育成が図られるものと考ええる。



地域行事の子どももちつき会

総務文教委員会

■スポーツ振興について

本委員会は、第1回定例会で「スポーツ振興について」の許可を得、スポーツの持つ力やスポーツ文化の有する素晴らしさなど「スポーツ力」について議論を深め、合わせて競技スポーツの振興、アスリートの発掘と育成の新たな視点で都市事例調査も行ってきました。

委員会の動き

富良野出身スポーツ選手の国内外の各種大会での活躍は、市民に自信と誇りをもたらし、子供たちに夢と希望を与え、また市民一丸となった応援の取り組みは、市内の活気が盛り上がることになり、新たなコミュニティの醸成が期待できます。さらに、本市の魅力が国内外に発信されることにより、体育の面に限らず、様々な波及効果が期待でき、市民に対して良い影響をもたらす原動力にもなります。最大の課題はアスリー



全国高等学校選抜スキー大会風景 (於:富良野スキー場)

トの活動資金の確保です。現実的な方策として、行政・民間企業・市民有志によるものなどが考えられますが、先に述べた波及効果を考え、時に市民総体でサポートするなど、その取り組みが自らの活動からスポーツ活動を支える楽しみへと新たな視点での広がりも期待できます。スポーツ活動を継続的に実践・支援し環境を整備することは、スポーツ文化の振興となり本市の魅力を引き上げ、その価値は無限大に広がるものと考えられます。今後は競技スポーツ振興、アスリートの発掘・育成の視点を加えた新たなスポーツ振興に取り組むべきとの意見の一致を見ました。

総務文教委員会 都市事例調査報告

■指定管理者事業評価について

八潮市は、公の施設の指定管理者の業務に関する事業評価実施要領を独自に定め、指定管理者の業務遂行状況及び提供サービスの確認・評価を行っている。規定に基づく事業報告書のほかに、定期報告書と自己評価表の提出を定め、年次・定期・随時評価を行う。評価責任者を施設所管課長とし業務履行評価表を用い総合評価を5段階に評価。所見を付し指定管理者へ通知、必要に応じ指導を行い、市ホームページで公表している。

■教育委員会の職務権限の特例

草加市は、市長部局で文学賞、文化会館など管理し、教育委員会は文化・芸術の推進、文化関連資料の刊行業務を行い、区分の困難が弊害となっていた。平成19年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正で、教育委員会が所管する



視察地の八潮市庁舎前にて

文化、スポーツ事業に関する事業が市長部局に一元化することが可能となり、組織改正を行い自治文化部を新設、教育委員会は学校教育・社会教育及び文化財保護を所掌事務とした。

■長野市スポーツ振興計画

平成20年に策定されたスポーツ振興計画は、これまで学校体育や企業が中心であったものを市民自ら作りだす地域が支えるスポーツとして行政主導から住民主導とした。目指す目標はスポーツを軸としたまちづくりを掲げ、健康増進だけでなくスポーツを文化として捉えたことに特徴があり「長野市文化芸術及びスポーツ振興による文化力あふれるまちづくり条例」を制定。

保健福祉委員会

保健福祉委員会より、平成22年第2回定例会において継続調査の許可を得ました、事務調査第3号「高齢者福祉について」の調査の経過について中間報告いたします。

本委員会は、担当部局より調査に係る資料の提出と説明を求め、調査を進めてきています。

全国的な少子高齢化社会に向かうなか、本市にあっても平成22年3月31日付け住民基本台帳調べでは、人口2万4143人、0歳から14歳までが3190人、12・7%。15歳から64歳が1万4583人、60・4%。65歳以上が6370人、26・4%となっています。

平成17年10月1日の国勢調査による数値から見ると、それぞれ0歳から14歳までは3568人、14・3%となっており、15歳から64歳が1万5338人、61・2%。65歳以上が6168人、24・6%で、子ども達や働き盛りの人達が1ポイントほど減り、逆に65歳以上の人達が約

2ポイント増えている状況です。

このような現状の中で、高齢者福祉、特に介護保険制度に基づく在宅介護、通所介護と本市単独の高齢者福祉事業に関して調査を進めてきたところです。

介護保険に関する事業は、制度に基づいて各種サービスの提供がなされているほか、本市単独事業として、外出支援サービスをはじめとした事業に取り組んでいます。

今後は、これまでの事務調査をもとに先進都市の事例調査を合わせて実施し、本市の高齢者福祉に関する調査をさらに深めたいことから、今回は中間報告とし、継続調査とすることになりました。



敬老を祝う会

経済建設委員会

本委員会では「ふらのらしい住環境整備について」をテーマとして、第1回定例会以後調査を行ってきました。委員会ではまず「ふらのらしい」とは何かの議論の中で、自然環境が豊かな市民の環境意識が高いなどのほか冬期間の厳しい気象環境があげられ、ふらのらしい住環境整備については「環境にやさしい新エネルギーの活用」と「富良野の住まいづくり」の二つをキーワードとして議論を重ねてきました。

■環境にやさしい新エネルギーの住宅への活用

再生可能な自然エネルギーとして、太陽光・太陽熱・風力・バイオマス・水力・氷雪熱・地熱などが上げられる。太陽光発電は、一般住宅や学校での活用が見られるが、本委員会では、ふらのらしさという観点から、木質バイオマスが将来的にも有望な自然エネルギーであり、木質ペレットの生産、流通経路の

確立とともに、生産ラインが確立されている固形燃料の活用に向け燃焼ボイラーの開発など、民間企業同士が共同で開発、研究できる企業体の育成も視野に入れ、富良野の地域資源を住宅に有効活用を図る必要がある。また、北国の気候風土に適応した住まいづくりについても委員会の議論経過を踏まえて意見を付し、第2回定例会に報告をいたしました。

■雇用対策について

本委員会では、雇用対策を次の調査テーマとして、他都市の先進事例も参考としながら、富良野の雇用対策について議論をしていきます。



省エネルギー型公営住宅

議会改革特別委員会

平成21年第1回定例会において再設置された本委員会も終盤を迎えました。

議会は「討論と審議の機能」や「住民の意見を代表する機能」など、独自の機能を持つています。その機能を十分に発揮させるために、開かれた議会であるか、議論は十分に尽くされているか、衆知を集める努力はされているか、行動が伴っているかの検証を行いながら改革を進めていかなければなりません。

また、議員一人ひとりが常に研鑽を積み、資質の向上に努めるのは議員としての責務です。本委員会では、次の課題として議員倫理の明確化、会派政党制のあり方について議論を進めています。

議員倫理についての条例化は詳細に議論を尽くす必要があります。言うまでもなく議員は市民の厳粛な信託を受けたものであり、市政に関わる役割と責務を自覚するとともに、常に倫理の向上



に努め市民の疑惑を招くことのないように、良心及び責任を持って行動することが求められています。

次に、会派政党制についてですが、課題の整理を行い、そのあり方について検討していきま。議会改革は、議員定数や議員報酬だけに目を向けるのではなく、何が住民の利益になるのかという視点からの議論と、それに伴う行動が必要で。議会が変わればまちが変わると言われます。

本委員会は議員定数の現行維持の結論を出しましたが、志を持つ多くの皆さんが挑戦し、さらに高度化された議会が構築されることを期待するものです。

委員会の動き

議会報告会 (市内全域)



議会報告会

第2回定例会以後、市内全域を対象に議会報告会を3班編成により延べ9会場で実施しました。9会場における延べ出席人数は110名で予想を下回りましたが、市民の皆さんと議会が直接対話をする機会を得られたことは貴重な経験でした。

議会が議場や委員会室から出て地域に足を運び、生の声に接しながら行政課題の把握に努めることは、住民の代表機関として自然な取り組みです。

住む地域によって住民意識や抱えている課題も違い、議会と

して市民の皆さんと向き合い、多様な民意をくみ取りながら政策提案に結び付けていくことは、富良野市議会の今後のあるべき姿であると考えます。富良野市議会では、議会報告会を次のように位置づけていきます。

①議会広報、ラジオ市議会、議会ホームページと併せて議員が直接、議会の機能や現状、また、常任委員会や特別委員会などの議会活動を報告し、正しく理解を深める機会とする。

②市の政策決定の機関として可否に至る審議経過を報告し、意思決定過程の説明責任を果たす機会とする。

③民主的な議会を形成するために、一部の市民や特定の団体のみならず、幅広く意見を把握することが不可欠であり、市民の多様なニーズを再認識する契機とする。

④市民との直接対話による多様な住民意思を整理統合し、委員会調査や一般質問、議会質疑に結びつける政策提言能力の強化など、議員資質の向上や議会審議の質の向上に資するものとする。

平成21年度決算審査特別委員会を設置

◇平成21年度の一般会計外各会計決算が、監査委員（松浦惺氏、横山久仁雄氏）の審査を受け、認定を受けるため第3回定例会に提案されました。

【一般会計・特別会計】

- ・一般会計歳入歳出決算
- ・国民健康保険特別会計決算
- ・介護保険特別会計決算
- ・老人保健特別会計決算
- ・後期高齢者医療特別会計決算
- ・公設地方卸売市場事業特別会計決算
- ・公共下水道事業特別会計決算
- ・簡易下水道事業特別会計決算

【企業会計】

- ・水道事業会計決算
- ・ワイン事業会計決算

◇本議会では、各会計の決算審査のため、議長と議会選出監査委員を除く議員16名による特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

なお、初日の定例会終了後に委員会を開き、委員長に東海林孝司委員、副委員長に今利一委員をそれぞれ選出しました。◇また、9月17日の定例会閉会后に委員会を開催し、各所管にかかる審査日程及び決算審査に必要な審査資料を決定するとともに、21年度決算の総括説明を受けました。

【各所管審査日程】

11月9日(火)	保健福祉部・看護 専門学校・経済部
11月10日(水)	建設水道部 教育委員会
11月11日(木)	総務部 歳入総括
11月19日(金)	予備日

*上記日程にて傍聴できます。

総合計画基本構想審査特別委員会を設置

今回提案された「第5次富良野市総合計画基本構想」について閉会中に審査するため、総合計画基本構想審査特別委員会が設置されました。

委員会構成は次のとおり。

委員長	菊地敏紀
副委員長	横山久仁雄
委員	佐々木久仁雄
委員	大栗民江
委員	千葉健一
委員	東海林孝司
委員	岡野孝則

8月

- 2日・議会報告会(西地区コミュニティセンター)
- 9日・経済建設委員会
- 10日・保健福祉委員会
- 11日・総務文教委員会
・代表者会議
- 19日・保健福祉委員会
・総務文教委員会
- 20日・議会改革特別委員会
・議会報告会(麓郷集落センター)
- 21日・議会報告会(布部会館)
- 23日・経済建設委員会
・議員協議会
- 26日・総務文教委員会
・議会報告会(山部福祉センター)
・全国市議会議長会正副委員長会議

9月

- 1日・議会改革特別委員会
- 2日・議会運営委員会
- 3日・総務文教委員会
- 7日・第3回定例会(1日目)
- 9日・経済建設委員会
- 13日・第3回定例会(2日目)
・議員協議会
- 14日・第3回定例会(3日目)
・議会運営委員会
・議会広報特別委員会
- 17日・第3回定例会(4日目)
- 24日・総務文教委員会
- 27日・沿線議長会議員研修会(占冠村)
・保健福祉委員会
・経済建設委員会
- 29日・総合計画基本構想審査特別委員会

10月

- 4日~6日
・経済建設委員会都市事例調査
- 4日~7日
・保健福祉委員会都市事例調査
- 7日・沿線議長会秋季総会
- 8日・議会改革特別委員会
- 12日・議会広報特別委員会
- 13日・保健福祉委員会
・経済建設委員会
- 14日・総務文教委員会
- 15日・総合計画基本構想審査特別委員会
- 18日・総務文教委員会
- 19日・議会広報特別委員会
- 20日・広域連合議会第2回定例会
- 21日・広域連合議会第2回定例会
- 22日・広域連合議会第2回定例会
- 26日・議会広報特別委員会
- 28日・総合計画基本構想審査特別委員会

委員会の動き

●各常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中次の事務調査・都市事例調査を行います。
●事務調査

委員会名	調査番号	調査件名
総務文教委員会	調査第4号	指定管理者制度の現状について
経済建設委員会	調査第5号	雇用対策について

●都市事例調査

委員会名	調査件名	調査地
保健福祉委員会	高齢者福祉について	岐阜県本巣市 岐阜県郡上市
経済建設委員会	雇用対策について	岩手県花巻市 岩手県遠野市

可決された意見書

◇第3回定例会に議員提案された意見書は次の1件です。可決後、直ちに関係機関に送付しました。

●森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書
(菊地敏紀議員外6名)

平成22年第4回市議会定例会の開会予定日をお知らせします。

12月7日(火)開会日	開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は、日程を確認してください。多くの方の傍聴をお待ちしています。
12月13日(月)一般質問	
12月14日(火)一般質問	
12月15日(水)予備日	
12月17日(金)最終日	

問い合わせ 議会事務局 TEL 39-2322

編集後記



▼市議会だよりも48号となり年内最後の発行となりました。平成11年8月に創刊してから11年の長い間、こうして成長の歩みを踏んでこられたのは、皆様のご叱正があつたればこそと感じます。

▼毎回、活字にする難しさに頭を悩ませながら、少しでもわかりやすい紙面づくりを目指し、編集作業に委員7人で当たっています。

▼議員18人が6人ずつ3班に分かれ、9カ所の地域会館で開催した議会報告会に於いては、

市民の皆様のご参加、ご意見をいただき、大変ありがとうございました。質疑の中で回答できるものは、班ごとで対応していますが、何らかの方法で、市民の皆様にもお知らせしていきたいと思っております。

▼また、6月9日よりことぶき大学校で議員が議席順番毎に一人ずつ、30分程の時間をいただいで自由なお話もしています。

▼議会も議員も、様々なことにチャレンジさせていただいています。市議会だよりをお読みいただきありがとうございます。

議会広報特別委員会
委員 大栗 民江